



センターニュースをお読みの皆様へ

5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりはや3か月、いかがお過ごしでしょうか？

ご家族、ご後見人の皆様、第三者評価へご協力をいただきありがとうございました。皆様から温かいお言葉をいただき感謝しかありません。改善すべきところはご家族・ご後見人の皆様に安心していただけるよう工夫していきたいと思っております。少しずつではありますが、感染対策を行いながらご面会や外出活

動の範囲を広げ、新しい形で提供していけたらと考えております。9月のわいわい祭りは利用者の皆様のご家族と一緒に楽しく参加できるように検討しております。今後も安全安心で豊かな生活を送っていただけるよう、職員と共に目指してまいります。



療育部
部長 落合 三枝子

第7病棟 犬遠足

6月21日(水) 梅雨の晴れ間に7病棟東棟の大遠足を行ないました。今回のテーマは『沖縄へ行こう!!』とし、沖縄の自然や文化を五感刺激で楽しんでいただけるプログラムをご用意しました。午前中は厚生棟で大きなシーサーに思い思いに色付けをし、個性的な芸術的な作品に仕上がりました。(7病棟の出入り口に飾ってあるので、皆さんご覧ください!) 昼食は沖縄そばとにんじんしりしりを召し上がっていただき、沖縄の食文化を堪能しました。午後はビーチリゾートや美ら海水族館の雰囲気体験したり、中沢池公園を散策し沖縄の宝を探したり、フォトスポットでは民族衣装を身に付けて“美らさん”な写真を撮りました。更に今年度の新人職員が偶然沖縄出身で、沖縄方言講座や伝統芸能であるエイサーを披露してくれたので、大いに盛り上がりました! 病棟を離れて沢山の体験をし、楽しい一日となりました。(療育主任 柴田 敦子)

第3病棟 犬遠足

6月8日(木) 3病棟大遠足(西棟)を開催しました。今回のテーマは「まるるぶトラベル～島田ウォーカー～」添乗員さんのガイドのもと、<フルーツ狩りと温泉>に出発! 厚生棟に設置した果樹園では、ぶどう棚から下がったぶどうやマスカット、色々な音や感触のイチゴ畑、大きなメロンやパイナップルの畑、原木になった椎茸、つるが伸びた芋畑など…見て、触れて、甘い匂いを嗅いで、それぞれ思い思いに収穫を楽しみました。試食コーナーもあり、普段お食事されていない方も、舌先でちょっぴり味覚を味わいました。けやき広場では、「島田の湯 湯もみ歌」に合わせて湯もみ体験をしたり、いろいろな香り・色の入浴剤で手足浴バイキングをしたり…天候にも恵まれ、皆さんリラックスして温泉を満喫されていました。

(療育主任 宮沢 直美)



音楽の広場

エンジョイコンサート

5月28日(日)音楽大学の学生4名をお迎えし、配信コンサートを開催しました。今回は季節の音楽をはじめ、アニメソングや童謡を演奏していただきました。無観客で行われたコンサートでしたが、演奏者の田中様は「目の前に利用者の皆様を思い浮かべながら演奏しました」と演奏時の思いを話してくれました。

演奏者の一人一人が、音楽が好きで表現することを楽しんでいる様子が滲み出ている時間でした。コンサート後、ある利用者様が「今日のコンサートは楽しかったです。ありがとうございます。また来てください。お願いします」と療育部前でお辞儀をされた場面を目にし、早速次回のお約束をさせていただきました。

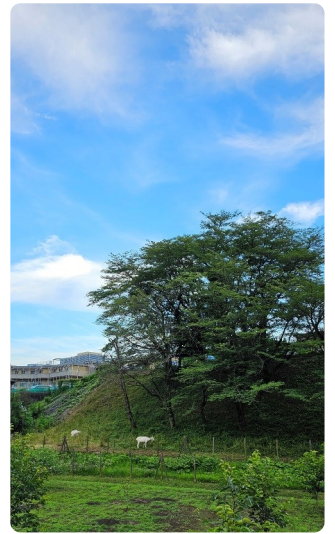
(編集委員 清水 信夫)



今年も山羊さんが来てくれました

今年も山羊の「ユウくん」と「カスミちゃん」が、センターに来てくれました。2018年9月「わいわい祭り」除草の為に初めて来て以降、大人気。翌2019年から、毎年4月～10月契約で来てもらって4年目になり、今年は北側の駐車場斜面もお願いしています。

外来の利用者様からも大人気です。ただし金網から指を出すと噛まれる場合がありますし、またエサを与えると山羊がお腹を壊すことがあります。可愛くても遠くから見守るだけで、お願いしますね。今日も白い尻尾をふりふり、美味しそうに草を食べています。



(編集委員 田中 和恵)

第65回

日本小児神経学会

第65回日本小児神経学会が5/25(木)～5/27(土)(5/24プレングレス)岡山で開催されました。当センターからも多数の参加があり、演題を発表しました。今後の研究につながる萌芽的なものから歴史を振り返るものまで多彩な内容です。

実践教育セミナー 8：誤診から学ぶ(4)

座長 久保田雅也(島田療育センター小児科)

PES8-01 急性脳症と臨床的脳死判定、遅れて出てくる体動の意義 久保田雅也(島田療育センター小児科)

PES8-03 日米における誤診の構造の違い 一 小児神経領域から一 久本佳美, 久保田雅也(島田療育センター小児科)

口演発表

O7-02 高橋美智 島田療育センター 精密対光反射計測による自閉スペクトラム症の自律神経機能の評価

O39-02 福田あゆみ 島田療育センターはちおうじ神経小児科 境界知能の子どもと両親における不安・抑うつに関する検討

O39-05 中村由紀子 島田療育センター小児科 療育センターにおける20年間の医療の変遷

ポスター発表

P9-037 杉浦信子 島田療育センターはちおうじ児童精神科 ギフテッドの子どもたちの日常生活におけるQOL実態調査

P9-038 小沢 浩 島田療育センターはちおうじ神経小児科 母子の生活環境採点法における項目の比較検討

P10-040 小沢愉理 島田療育センターはちおうじ神経小児科 島田療育センターはちおうじにおける移行後の患者への移行医療に関するアンケート結果

P26-121 河野千佳 島田療育センター 長期入所施設における新型コロナウイルス感染症24例のクラスタの経過と感染対策における課題

P54-121 井之上寿美 島田療育センターはちおうじ神経小児科 ダウン症候群児における血清亜鉛値の検討

ランチョンセミナー

LS6 精神疾患の診断・統計マニュアル第5版新訂版の記述から紐解く小児期の注意欠如・多動症の鑑別診断と併存疾患 野村健介(島田療育センター)

LS22 神経発達症診療の最近の話題 一 小児期の低亜鉛と入眠困難一 小沢 浩(島田療育センターはちおうじ)

(院長 久保田 雅也)

お届けスヌーズレンカー♪

イベント出展報告

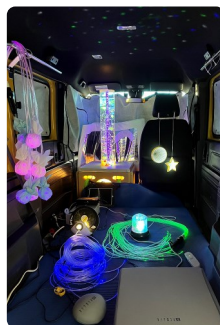
新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、当センターも安全に配慮しながら少しずつ日常を取り戻す動きを始めています。東京都福祉保健財団に助成をいただいた「お届けスヌーズレン♪」もようやく活動再開です！今回は7月9日(日)に開催された地域のイベント「みんつく！」にスヌーズレンカーを出展して参りました。「みんつく！」は、「みんなで作る！ボーダレスな未来」をコンセプトに、東小金井小児神経・脳神経内科クリニックとカラムンの森こどもクリニックが主催されたイベントで、発達心配や病気・障害を持つお子さんとそのご家族、支援者を対象に「みんなで学び・遊び・つながって作り上げよう！」と集まった企画です。

イベントは休校日の田無自動車教習所を貸し切って行なわれ、午前・午後の各60組の事前申込枠は売完、300を超える方々が来場されました。講演会の他、絵本や遊具、手作りおもちゃのブースや駄菓子、ジェラートのお店、車イス・かけっこレース、シールラリー等楽しめる活動が盛りだくさんで、障害等のあるなしに関わらず“楽しい、美味しい、面白い”を共感できる素敵なイベントでした。

当センターからは、スヌーズレンカー内に体験スペースを設けた他、様々な種類の感覚刺激のおもちゃや楽器等を展示し、触れたり感じたり鳴らしたり…と自由に楽しんでいただきました。幌を張り出して暗く

した車内にはバブルユニットや、アウラ(映写機)、様々なライト、音楽とそれに連動して振動するボディソニックを設置し、スヌーズレン空間を味わっていただきました。屋外イベントでしたので、車内が若干暑く長居は難しいと思っていましたが、一旦中に入ると引き込まれてしまうのか、寝転んだり、くつろいだり、繰り返し来てくれたお子さんもいました。車イスや医療的なケアがあるお子さんとご家族も多くお越しくださいました。アンケートに寄せられた感想も好評で、また体験したい、うち(自宅や事業所)にも来てほしいといった感想も複数いただきました。これをきっかけにスヌーズレンだけでなく、当センターに関心を持ってくださった方もいらしたかと思えます。今後もスヌーズレンの啓蒙や地域参加の機会として、また当事者とご家族、支援者の方々に楽しみをお届けする機会として「お届けスヌーズレン♪」活動をしていけたらと思っております。今回このようなイベントを企画運営してくださった皆様にも御礼申し上げます。

(社会福祉士 市川 香織)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

1歳半を過ぎても夜泣きが酷く、このままで良いのか心配です。



A

夜泣きが長く続くと心配になりますし、親も疲れてしまいますよね。一般的に夜泣きは半年～1歳半頃まで続くと言われていますが、2歳を過ぎても続くことがあります。これは私の体験になりますが、娘もよく夜泣きをしていましたし、3歳半になる孫もまだ夜泣きをします。夜泣きはその子の感受性の強さにも左右されますが、嫌なことや不安、環境の変化などによって引き起こされることもあります。週末になると親の都合でうち

に孫が一人で泊りに来ますが、普段と違う環境のためか夜泣きをします。

夜泣きが続くと親は疲れて心に余裕がなくなり、怒りっぽくなります。親の気持ちが不安定であると子供もその不安を感じ取って夜泣きをします。ぐるぐると悪循環に陥ってしまいます。まずは親が心の余裕を持つようにすることが大切です。親子ともに健やかに過ごせるように、たまには気分転換の時間を取ってみてはいかがでしょうか。

夜泣きは成長の過程で起こり得るもので、子供の理解力が高まると共にしなくなりますので、過度に心配しすぎないことも大切です。

(理学療法士 杉沢 英浩)

第15回

島田療育センター集談会

6月26日(月)から、第15回島田療育センター集談会の開催を行いました。今回もオンデマンド形式による口演発表と、ポスター掲示およびデータ掲載による実施としました。今回は昨年度開催された第47回重症心身障害学会学術集会での発表演題を募集したところ、10演題の登録がありました。全体では上記を含め口演発表3題、ポスター発表11題の合計14題が発表されました。学会での発表内容や各部署での取り組みを共有する機会となりました。

(編集委員 神田 水太)

東京都共同募金会様助成により

高性能視線入力装置を導入しました

当センターでは入所・通所・外来問わず視線入力による取り組みが行われています。この度、より高性能な視線入力機器導入のため、東京都共同募金会様の地域配分(B配分)の助成を申請したところ、配分決定の通知をいただきました。そして7月下旬には意思伝達や研究用途にも利用できる視線入力装置「Tobii PCEye5」を購入することができましたので、今後活用を進めていきたいと思っております。助成をいただきました東京都共同募金会様にこの場を借りて感謝申し上げます。



(編集委員 神田 水太)

島田療育センター全体

防災訓練

6月24日(土)、島田療育センター全体の防災訓練を実施しました。ご存じの様にセンターの利用者様は自力での移動・避難が不可能で、地震や台風など大規模災害に対し、他の医療機関以上にしっかりとした対応が必要です。これまででも全体防災訓練・各部署・病棟ごとの訓練を毎年行ってきましたが、コロナ禍のため全体訓練は4年ぶりとなりました。

当日は、震度6の首都直下型地震を想定し、直ちに災害対策本部を立ち上げ、院内緊急放送での通知を行うと

ともに、一斉メールで全職員の安否確認、センターから3キロ以内に居住する職員は徒歩で集結しました。さらに、病棟勤務職員から災害報告書を本部に提出してもらい、自宅から参集した職員は2箇所の防災倉庫の確認を行いました。10月には、地元自治会との合同訓練も予定しており、今後とも災害時の対策をさらに充実させていきたいと考えております。

(副院長 防災危機管理委員会 高山 真一郎)



おしらせコーナー



島田療育センター

わいわい祭り2023



日程 2023年9月9日(土)
会場 島田療育センター(グラウンド・外来など)
時間 入所利用者 14:00~19:05
地域・一般参加者(要事前申込) ... 16:00~19:05

ホームページにて詳細な内容や申し込み登録を受け付けています。詳しくは以下のページをご参照ください。

島田療育センター わいわい祭り2023



スマートフォンの方はこちらから



季節の彩り

夏本番に向けて、装飾のボランティアの方が海の生き物を届けてくださいました。さびやかな人魚を中心に様々な海の生き物が集まっています。それぞれが微笑み、ほのぼのとした作品になっています。じっと見つめていると何かを語り掛けているように思えてきます。皆様はどんな言葉が聞こえてきますか。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042(374)2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

